資料２

外部評価　対象シート

【No.1】自主財源の確保

（シティセールス広報課・行政デジタル改革課）

【No.6】公共施設マネジメントの推進

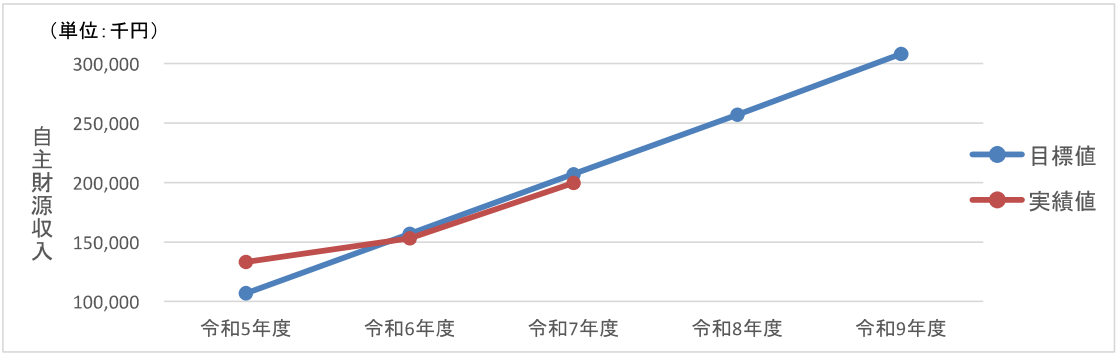
（公共施設事業調整課）

◆第４次春日部市行政改革大綱進捗管理シート

取組項目No.	1	担当課	行政デジタル改革課
推進項目	積極的な歳入増加		
取組	自主財源の確保		
現状と課題	生産年齢人口の減少により市税の大幅な伸びを見込むことが困難な一方で、少子高齢化による社会保障関連経費の増加が見込まれることから、財源確保を進める必要があります。		
実施内容	企業誘致や地域産業の振興を積極的に推進することにより、市税の増収を図るとともに、ふるさと納税や有料広告収入などをはじめとした自主財源の確保に努めます。		
目標	市税以外の自主財源収入額	現状値（令和3年度）	51,754千円

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	107,000千円	157,000千円	207,000千円	257,000千円	308,000千円
実績値	133,303千円	153,053千円	199,621千円		
達成率	124.6%	97.5%	96.4%		
財政効果額（千円）	94,051	98,789	120,285		
時間削減効果（時間）					

◆実績値の推移



令和7年度の取組状況（実績・成果・財政効果額・時間削減効果等）	【実績・成果】 令和7年度は、ふるさと納税165,690千円、企業版ふるさと納税23,300千円、広報紙・市公式ホームページ有料広告収入4,831千円、ネーミングライツ命名権料5,800千円、合計199,621千円の自主財源収入がありました。 主にふるさと納税ポータルサイトの追加や主要なポータルサイト内での広告実施により、ふるさと納税額が増額したことに加え、ネーミングライツによる命名権料収入により、実績値が増加しました。 【取組による効果（財政効果額、時間削減効果）】 自主財源収入額から必要経費を差し引いた120,285千円が財政効果となっています。
今後の方向性	拡充
令和8年度以降に向けた課題及び今後の取組方針	今後もふるさと納税におけるお礼品や協力事業者の拡充、企業版ふるさと納税における支援企業との継続的な関係構築やマッチングを代行する民間事業者を活用した新たな企業への積極的なＰＲ、ネーミングライツ導入施設の新規検討等により、自主財源収入の増加を図ります。

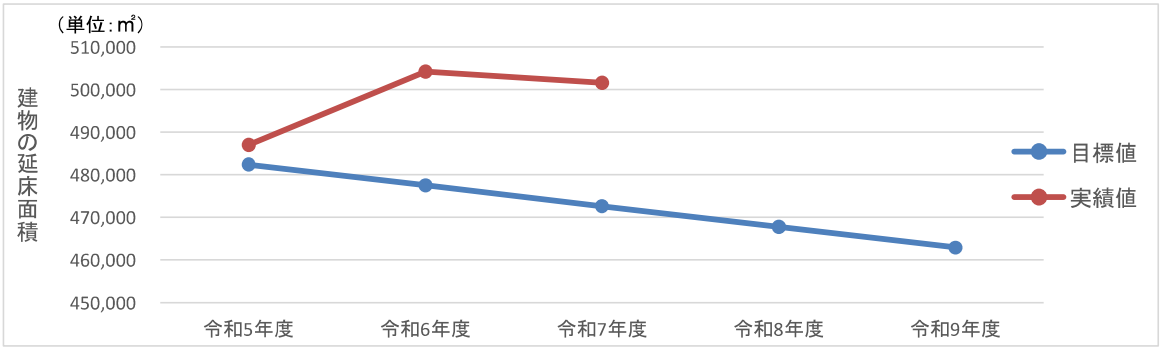
【拡充】：取組増の上で継続
【現状維持】：現在の実施内容のまま計画通り継続
【見直し】：改善の上で継続

◆第４次春日部市行政改革大綱進捗管理シート

取組項目No.	6	担当課	公共施設事業調整課
推進項目	徹底した歳出削減		
取組	公共施設マネジメントの推進		
現状と課題	持続可能な次世代のためのまちづくりの重要性が高まる中、本市の公共施設については老朽化が進行しており、集中的に更新時期を迎えるため、将来世代に負担を残さないよう、人口減少に伴う施設総量の適正化、予防保全の取組と安全性の確保、長期的費用の縮減と平準化など、効率的・効果的な施設維持管理や整備・再編を進める必要があります。		
実施内容	持続可能な次世代のためのまちづくりに向け、「春日部市公共施設マネジメント基本計画」を踏まえ、施設総量の適正化、予防保全の取組と安全性の確保、長期的費用の縮減と平準化、廃止施設の有効活用などの方針のもと、公共施設マネジメントに係る取組を着実に推進します。		
目標	建物の延床面積	現状値（令和3年度）	487,272.43㎡

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	現状値より1.0%減	現状値より2.0%減	現状値より3.0%減	現状値より4.0%減	現状値より5.0%減
	482,399.71	477,526.98	472,654.26	467,781.53	462,908.81
実績値	現状値より0.1%減	現状値より3.5%増	現状値より2.9%増		
	486,975.72	504,227.09	501,579.26		
達成率	6.1%	0.0%	0.0%		
財政効果額（千円）					
時間削減効果（時間）					

◆実績値の推移



令和7年度の取組状況（実績・成果・財政効果額・時間削減効果等）	【実績・成果】 令和3年度より「建物の延床面積」が14,306.83㎡の増となり、目標値である3.0%（14,618.17㎡）減を達成することはできませんでした。 しかしながら、旧第3別館および春日部駅西口自転車駐車場の解体により，令和6年度より「建物の延床面積」2,647.83㎡の縮減が図られました。今後においては、旧市役所（12,848.80㎡）の解体、第3保育所（857.52㎡）の売却などにより、「建物の延床面積」が13,706.32㎡縮減される予定です。 あわせて、公共施設マネジメントの取組により新たに生み出された公共施設跡地について、売却を原則とした効果的かつ効率的な活用を図るため、春日部市資産活用方針に基づき、市有財産の活用を図っているところです。 【取組による効果（財政効果額、時間削減効果）】 旧第3別館および春日部駅西口自転車駐車場の解体により、令和6年度と比較して、維持管理費の削減につながっております。
今後の方向性	現状維持
令和8年度以降に向けた課題及び今後の取組方針	全体施設総量が公共施設マネジメント基本計画の目標値を上回っており、計画どおりに公共施設を適正に管理する必要があります。 今後も引き続き「公共施設マネジメント基本計画」に基づき、施設所管部署と連携を図りながら、より強力かつ組織を横断的に公共施設マネジメントの推進に取り組んでまいります。 あわせて、春日部市資産活用方針に基づき、公共施設の跡地や市所有の未利用地などについて、売却を原則とした効果的かつ効率的な活用方法を検討してまいります。

【拡充】：取組増の上で継続
【現状維持】：現在の実施内容のまま計画通り継続
【見直し】：改善の上で継続